

平成 21 年秋期 基本情報技術者試験 合格発表 アイテックコメント

(株) アイテック 商品開発本部 石川英樹 2009,11,16

先の 10 月 18 日(日)に行われた新試験制度 2 回目の実施となる平成 21 年秋期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者/IT パスポート試験の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■基本情報技術者試験(FE)

[平成 21 年秋期の基本情報技術者試験 統計情報]

応募者	107,800 人
受験者	79,829 人
合格者	28,270 人
合格率	35.4%

新試験制度 2 回目の実施となった今回の応募者数は、昨年同時期の試験に比べて 6,000 人ほど増えました。資格取得を目指す人が増えたことや、新設された IT パスポート試験の合格者が受験に加わったことが要因と考えられます。今回の合格率は 35.4%で過去最高の結果となりました。前回の合格率は 27.4%でこのときも過去最高でしたがそれを大きく超えました。理由としては、苦手としている受験者が多い問 8 のアルゴリズム問題(必須)に誤りがあり、問題で、空欄二つ分(アイテックの予想配点で 8 点分)が全員正解になったことが大きいと考えられます。

新試験制度で 2 回目となった基本情報技術者試験ですが、午前試験は前回よりも新傾向問題が増えたとはいえ、全体としては旧試験制度自体の出題内容と大きく変わっていないといえます。新設された IT パスポート試験の出題内容で新傾向問題が多いのと対比的です。午後試験問題は少し難しい問題が前回よりも増えたと考えていますが、アルゴリズム問題で全員に加点されたため、合格率は上がっています。

今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

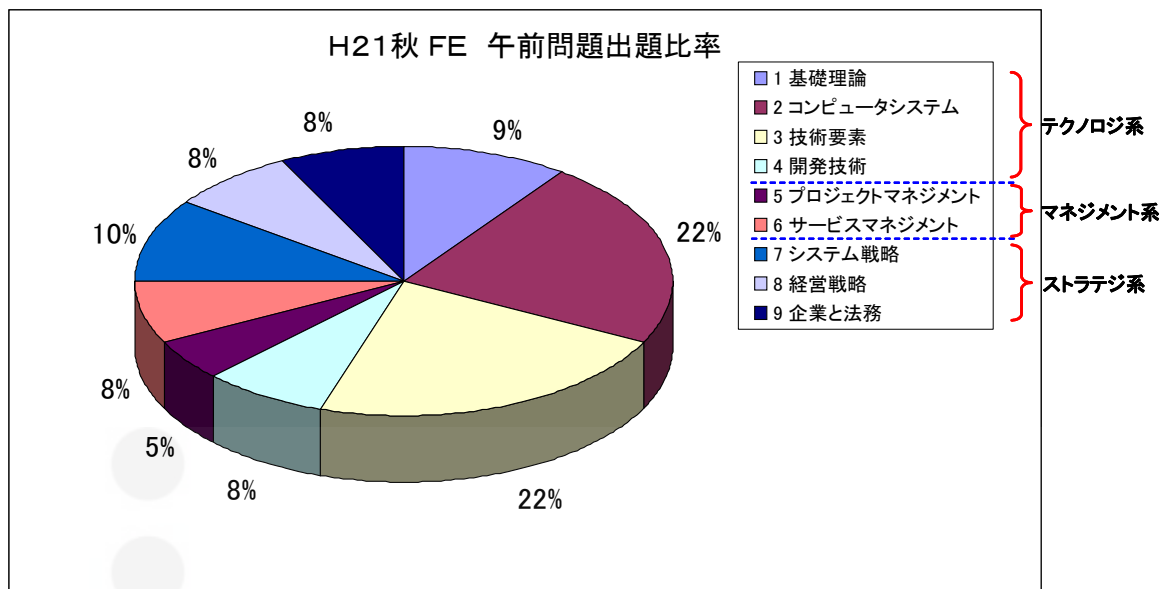
[午前問題]

- ・テクノロジー 50 問, マネジメント 10 問, ストラテジ 20 問の出題比率は前回と同じでした。
- ・発表された得点分布から概算で平均点を計算すると午前が約 59 点, 午後が 57.4 点でした。
- ・過去問題の比率は全体の 6 割で, 前回とほぼ同じ割合でした。
- ・新傾向または新しい用語に関するテーマとして, 次のような出題がありました。

問 4 シーケンス制御	問 47 ソフトウェア方式設計
問 8 Ajax	問 48 システム適合性確認テストのデータ
問 18 メモリプール管理の固定長方式	問 56 ITILv2
問 21 ライセンス違反	問 57 過電圧の被害から防ぐための手段
問 23 SoC	問 61 エンタープライズアーキテクチャ
問 26 ユーザインタフェース	問 63 ASP
問 31 コンピュータグラフィックス	問 67 非機能要件に該当するもの
問 36 MAC アドレスの構成	問 71 WTO 加盟国での製品開発の規格
問 44 パケットフィルタリング	

- ・今回の試験では、ITパスポート試験や応用情報技術者試験と重複する出題は1問もありませんでした。それぞれの試験問題が完全に独立して選択されていると考えられます。

平成21年秋期の基本情報技術者試験



〔午後問題〕

新試験制度から大幅に出題内容が変わり、問1～7の知識の応用問題から5問選択で、問8のアルゴリズムが必須、問9～10のプログラミングの問題からは1問選択になっています。なお、ユーザ側人材も受験できるように、プログラム言語として表計算ソフトが加わっています。

- ・午後問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。

問	テーマ	出題分野
1	半加算器と全加算器	ハードウェア
2	倉庫内の保管棚を用いた書類管理	ソフトウェア
3	データ送信とその符号化	データベース
4	利用者認証	情報セキュリティ
5	航空券発券システム	ソフトウェア設計
6	インシデント及び問題の管理	プロジェクトマネジメント
7	情報システムの効果見積り	経営・関連法規
8	数値計算と計算誤差（ニュートン法）	データ構造及びアルゴリズム
9	多倍長整数の加算（C）	ソフトウェア開発（プログラミング）
10	売上データのマスタへの反映（COBOL）	ソフトウェア開発（プログラミング）
11	携帯電話の料金計算（Java）	ソフトウェア開発（プログラミング）
12	ビット列の置換え（アセンブラ）	ソフトウェア開発（プログラミング）
13	勤怠管理と出勤割当て（表計算）	ソフトウェア開発（プログラミング）

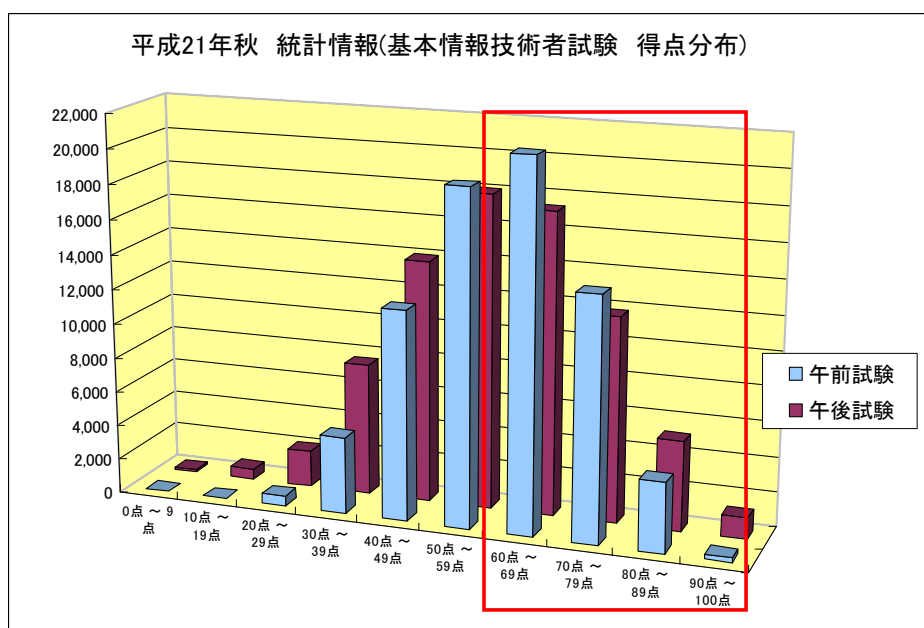
新試験制度では午後試験の出題テーマ（問1～7）にマネジメント系、ストラテジ系の問題も加まりました。今回はサービスマネジメントとシステム戦略の問題がそれぞれのテーマでしたが、いずれも内容的には平易な問題で、他のテクノロジー系の問題も少し易しめの問題が多かったといえます。問8のアルゴリズムは必須問題ですが、難易度はテーマが技術計算のニュートン法を使った近似計算で、数学が苦手な人にはかなり難しい内容でした。しかし、問題文の記述に誤りがあったため、該当の空欄二つの部分が全員正解扱いになりました。アイテックではこの部分の配点が8点あったと想定しています。午後試験で60点～69点の人が17,362人いましたので、単純計算で約14,000人の方が、この措置で合格圏内に入ったと考えられます。

プログラム言語の問題は、ここ数年易しい問題が多かったのですが、Javaの問題がやや難しい出題内容でした。また、表計算ソフトの問題は、前回、非常に易しい内容でしたが、今回はIF関数と論理関数の組合せで論理思考を問う内容で、普通レベルの難易度になりました。

試験センターから発表された基本情報技術者試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。なお、午後試験の受験者数が午前試験よりも2,400人ほど多いことから、教育機関で所定の学習をして午前試験免除で受験した人がこの数だけいると予想されます。

〔平成21年秋期 統計情報(基本情報 得点分布)〕

スコア	午前試験	午後試験
0点～9点	5	126
10点～19点	24	609
20点～29点	597	2,102
30点～39点	4,452	7,615
40点～49点	12,099	13,966
50点～59点	19,129	18,044
60点～69点	21,077	17,362
70点～79点	13,934	11,824
80点～89点	4,027	5,169
90点～100点	266	1,224
計	75,610	78,041
合格者数	28,270	合格者数との差
午前60以上合計	39,304	11,034
午後60以上合計	35,579	7,309



ここで、午前試験で合格基準点の 60 点以上の方が 39,304 人(52.0%)、午後試験が基準の 60 点以上でだった人は 35,579 人(午後試験受験者の 45.6%)でした。今回の試験では午後の試験が全員にアイテック予想で 8 点加点されていることを考えると、午後の試験を苦手としている受験者が多いことが分かります。

午前試験ではあと 10 点に泣いた方が 19,129 人(全体の 25.3%) もいることから、試験前の仕上げの学習を確実に行って、幅広い知識を理解する必要があります。

午後試験で基準点に行かなかった人は、まずは午前で出題される知識を深めること、問題演習を時間を決めて行うこと、模擬試験を受験して時間感覚を身に付けるなどして、実戦的な力を身に付ける必要があります。

(今回合格された人)

合格された人は、応用情報技術者試験にチャレンジされるのが適切と思われます。試験問題のレベルが一段上がるので、早めに学習することが必要です。特に新試験制度では午前試験の出題範囲が非常に広くなり、出題内容も大きく変わっていますので、早く学習することが大切です。

とはいえ、基本情報技術者試験の内容がベースになりますので、苦手分野や今回解けなかった問題などを中心に、まず、弊社テキストの「コンピュータシステムの基礎」で基礎力をもう一度つけて下さい。今まで読み飛ばしていたところも含めて、再度学習することが大切です。

学習にあたっては、アイテックで出版している予想問題集、本試験問題をご利用ください。また、受験対策のプロ講師が応用情報技術者の試験対策セミナーを行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テストをすべて含んだ「応用情報技術者 総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ標準学習時間 4 か月の「応用情報技術者 速習コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

(今回残念ながら不合格だった人)

今回の午前および午後試験の得点が 50 点～59 点だった人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身につけた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。

また、新試験では従来のプログラム言語に加えて表計算ソフトの問題も出題されています。プログラム言語が苦手な方は表計算ソフトで受験することも検討しましょう。また、出題範囲に加わった新しい分野からの選択問題も増えるなど、いろいろ変更点も多いので、弊社で行っている通信教育コースの受講をお勧めします。

コースには、新試験制度に対応させて新規で作直した予想問題集や午後試験対策のテキスト「午後問題の重点対策」のほか、午前知識の基礎テキスト、テストをすべて含んだ「基本情報技術者 総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト(2回)を含んだ「基本情報技術者 速習コース」があります。

その他、基本情報技術者の試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」など教育メニューをたくさんご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

コースの内容、2010 年春期受験用書籍の新しい書籍については弊社のホームページからご覧いただけます。どうぞご利用下さい。

<http://www.itec.co.jp/>

■2010 年春期受験用書籍（午前知識学習用教材の一部）

